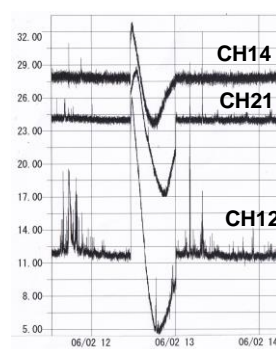
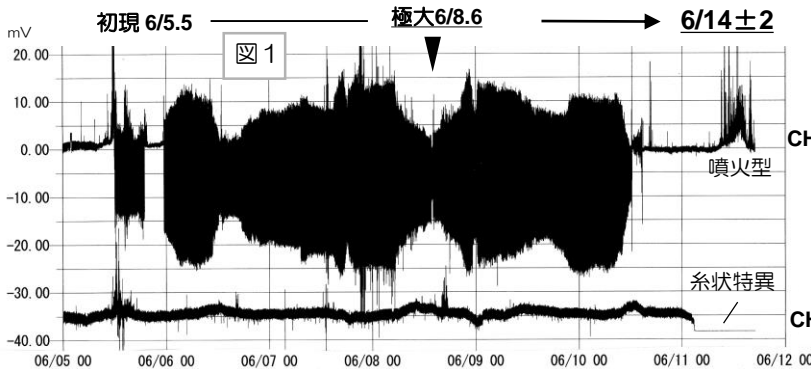
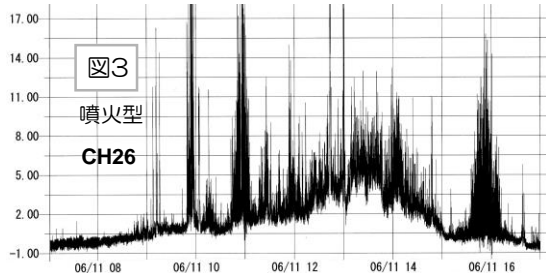


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様へ出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail または FAX で配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2 に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様へ配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

① No1778 CH26 静穏化 極大6/8.6 の場合 = 6/14 or 6/15 (6/15±2) 発生の可能性
または ② CH26が6/13以降も継続し、6/15±2 に極大の場合 = 7/2±3 発生の可能性



CH12・14・21等の
図2の様な変動は、
5/30.5、6/2.5、6/4.5
に出現。中心は6/2.0



◆前回の情報で、CH26に出現し出した変動が継続し、Stage-34が示す6/15±3に極大となる場合は、CH26の変動はStage-35で7/2±3が対応地震発生日である可能性を記しました。しかし、本日現在までのCH26の変動を見ますと、一度静穏化しており、6/8.6が極大である可能性も否定できません。その場合、前号ではEスポと記した6/5.5からの変動も特異変動である可能性が否めず、

初現 6/5.5～極大 6/8.6 とした場合 = 6/14±2 発生の可能性が示唆されます。従って、この場合は、CH26の変動は別形態変動という認識となります。

◆本日03時からハヶ岳のCH17が無振動基線の糸状特異変動となり、現在も継続しています。波形は載せておりませんが、CH32も本日17時から変動のある無振動基線が観測されています。図2は最近3回出現が観測された同期特異変動ですが、出現時期の中心は6/2.0です。仮にこの6/2.0が極大で、現在出現しているCH17・32の無振動基線特異が直前変動である場合は、その中心は6/11.7以降になる可能性が高いと思われ、仮に6/14.4に発生の場合は、特異変動の中心が明日の6/12.4となる可能性もあります。この無振動基線糸状特異が、6/14～15極大によって出現したとすると出現が早すぎると考えます。今の時期に出現するのは、直前変動である可能性の方が高い見解です。以上から、Stage-34が示す6/14 or 15 (6/15±2) が対応地震発生日である可能性が否定できません。表題のとおり、CH26にまた特異変動が再出現し、6/15±2に極大が出現する場合は、7/2±3発生の可能性となります。

◆本日図3のとおり、噴火型前兆変動が観測されました。明日以降も出現の場合は地震発生に伴う噴火の可能性高まります。

県境をわかり易くするため、影響局からの検知ドーナツ円（領域推定の作図線）を消した図で表示しました。



●推定領域：図4の実線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：
主震＋余震型の場合＝M8.0±0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い)
または複合地震活動＝複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが
Log L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で合計で110～150km程度となる様な
複合地震活動の可能性有（例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等）

※地震発生に伴い震源に近い火山で弱い噴火の可能性も考えられる
地震発生に伴い震源に近い火山が必ず噴火すると断定することは困難ですが、弱い噴火活動が生じる可能性は否定できません。過去例では浅間山では変動極大～5日±2 または19日、2018年1/23の草津白根山は変動極大から34日で小規模噴火（過去例中最長）今回は5/28と6/11に噴火型を観測。

●推定時期：①の場合：6/14 or 15 (6/15±2)
②の場合：7/2±3 (極大観測後修正)

○推定地震種：震源浅い日本列島陸地地殻地震
○推定発生時刻：午前 8時30分±2時間 or 午後 6時±3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※17年以上継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。対応地震が推定に近い内容で発生した場合でも被害が少ないことを祈ります。